

自然を楽しめる 家に行ってみよう

野鳥観察室の開放

毎年1月の第2日曜日から3月の第4日曜日(今年は3月23日)までの期間は、野鳥観察室を開放しています。マジックミラー越しにメジロやヒヨドリなどの野鳥が観察できます。昨年は30年ぶりにカワセミの姿も見られました。運が良ければあなたも出会えるかもしれません。



▲アカハラ



▲メジロ



▲カワセミ

植物観察園の開放

一年を通して開放されている植物観察園では、市内で失われつつある貴重な野草を観察できます。エビネやホタルカズラ、キキョウなど季節ごとに咲く野草が約100種類あり、これからの季節は、カタクリやクマガイソウなどの花が見ごろです。入園は無料です。



▲ホタルカズラ



▲クマガイソウ



▲カタクリ

子どもたちに 最高の思い出を

少年自然の家
調理員チーフ

天川 みつ子さん



私たちは、子どもたちの食事や宿泊の準備、館内の清掃・整備などを行っています。スタッフのほとんどは、“子どもたちにおいしい料理を作ってあげたい”と集まった近所のお母さんたち。栄養はもちろん、安全でおいしい給食になるよう日々努力しています。一度に200人分の食事を作ることもあり、大変なこともあります。『今日の給食おいしかったよ』と言ってもらえるのがなにより励みで頑張る力になっています。子どもたちが最高の思い出を作れるよう、これからもスタッフ全員で支えていきたいです。



記者が 体験

プラネタリウムで 満天の星空を

最大250人が利用できるプラネタリウム。毎月第2・4日曜日に、「今晚の星空」や「星座にまつわる神話」などを月ごとにテーマを変えて上映しています。録音ではなく、直接観覧者に語りかけながら投影するプログラムを基本としているので、その日に来ている観覧者の反応を見ながら解説内容を変えることができます。市内の人なら150円で観覧できるのも魅力の一つ。約1時間の満天の星空を体験してみませんか。



まるで飛行機の
コックピットみたいです



操作室にはずらりとスイッチが。観覧者の反応を見ながら一つ一つを手動で操作することで、プログラムを進めていきます。



④完成

文字を書いたり、木の実で装飾したりして、オリジナルの表札や壁掛けを作ってみよう。

③炭の部分 きれいに取る

黒く焼けた炭の部分ですすがなくなるまでたわしでこすります。

大変だけど、磨けば磨くほどピカピカになって楽しー。



編集 後記



鳴原記者

20年ほど前、娘たちが体験した焼き板作りを私も体験でき、わくわくしました。火を扱う経験は危険もあるかもしれませんが、子どもたちには貴重なもの。こんなにもたくさんの体験ができる施設が身近にあることはすてきなことだと思います。みなでこの場所がずっと変わらずにあるように大事にしていけたらと思いました。



竹内記者

初めて訪れた自然の家。40年近くたっているとは思えないほど、きれいに管理されてると思いました。地域のお母さんたちが協力して、食事の準備や施設のメンテナンスまでしていることにはびっくりしました。スタッフの皆さんの子どもたちに対する愛情を強く感じ、安心して宿泊学習に送り出せる場所だと思いました。



山本記者

プラネタリウムは最新の設備ではないかもしれませんが、いろいろな工夫や努力で大人も子どもも楽しめる内容だと思いました。今回の取材がきっかけで後日、星空観察会に参加しましたが、土星の輪が見えたときは、子どもと一緒に感動しました。名前の通り豊かな自然に囲まれて癒される場所だなぁと改めて感じました。